B.O.M. newsletter
BLUE GRASS & OLD TIME MUSIC
6-5-18 Kawamo, Takarazuka, Hyogo 665 Japan. Phone.0797-87-0561. Fax.0797-86-5184.

Bluegrass PICK IT UP!

IBMA International Bluegrass Music Association

B.O.M.Newsletter #345web

2009年7月9日

◆今年も宝塚ブルーグラス・フェスの季節がやってきました。38年目を迎える宝塚フェス、いつもの顔、久しぶりの顔、そしてあたらしい顔にお目にかかるのを楽しみにしています。

『第38回宝塚ブルーグラス・フェスティバル』

●場所：三田アスレチック（079-569-0024、〒669-1411　兵庫県三田市波豆川　281）●参加費用：\3,500-（4日間通用、キャンプやタープ設営には別料金）●宿泊：民宿（カナディアン大磯）やバンガローは三田アスレチックに直接、お申し込みください。●売店：神戸大学ブルーグラスがサークル活動費捻出のため売店を出店しますのでご協力ください！　●観覧には椅子の持込みをお勧めします。

◆今年のIBMAWOBツアー　6泊8日\287,000-

今年もナッシュビルのダウンタウンど真ん中、高層ホテルを中心に開かれるＩＢＭＡ ワールドオブブルー　グラス（WOB）へのツアーがあります。今年はアーティスト達がホスト役をするスペシャル朝食会が復活、あの人? に会えるかも!

基調講演とディナー(月)、オフイシャルショーケース(月ー水)、ブランチショーケース(水)、アワードショウ(木)、ファンフェス(金ー日)とお楽しみ満載。

基本は9月28日出発　10月5日帰国、またWOB　期間全参加やその前後のご相談もお受けしています。お気軽　にお問い合わせください。今年は1日増えて費用が大幅に下がりました。なお、8月29日が応募締め切りです。

◆ムーンシャイナー7月号は、18歳のサラ・ジャローズのカバーストーリーと、彼女たちを取り巻く新トレンド「ニュー・オールドタイミーについて～ギリアン・ウェルチとヘイゼル・ディッケンズ」特集ほか、アルバム『空を走る風のように、海を渡る波のように』を発表した西海孝インタビュー、50年間のデル・マッカーリー論、ジェイソン・デイビス、連載クラレンス・ホワイト物語⑤、米国ブルーグラス留学の勧めほか、日米ブルーグラス情報満載。

月刊ムーンシャイナー定期購読は1年間（12冊）
\6,000- 半年間（6冊）\3,300-。単冊\525-ですが、できれば年契をお願いします。購読開始希望月をお知らせください、早速お送りします...!!

今月の新入荷注目作品

ROU-0623　RHONDA　VINCENT『Destination　Life』CD\2,573-（本体\2,450-）

ブルーグラス・クィーンとも呼ばれるロンダ・ビンセント最新作。ブルーグラス新入荷参照。

SH-4049　SARAH　JAROSZ『Song　Up　in　Her　Head』CD\2,573-（本体\2,450-）

今春、高校を卒業した18歳、「女ティム・オブライエン」の異名をとるサラ・ジャローズの鮮烈デビュー作。ブルーグラス新入荷参照。

COMP-4504　BEARFOOT『Doors　and　Windows』CD\2,573-(本体\2,450-)

ビートルズのカバー"Don't Let Me Down"でノックアウト必至!！　ビルボートのブルーグラス・チャート1位の若者たち。ブルーグラス新入荷参照。

REB-1829　LOST　&　FOUND『Love,　Lost　and　Found』CD\2,573-（本体\2,450-）

この究極のバンド・サウンドをお楽しみください。4人組フィドルレス・アンサンブルの鏡!!　面白さ保障付き。ブルーグラス新入荷参照。

RCD-05335 ROB ICKES『Road Song』CD\2,573-（本体\2,450-）

すばらしいドブロとピアノのジャズ・スタンダード集。インスト新入荷参照。

SH-4040 BRYAN SUTTON & Friends『Almost Live』CD\2,573-（本体\2,450-）

現在、ブルーグラス・フラットピッキン・ギターの最高峰、ブライアン・サットンが豪華ゲストと弾きまくる快作。7月中旬発売、ムーンシャイナー8月号特集予定!!　詳細解説は次号にて!

PATUX-186 TATIANA HARGREAVES『Started Out To Ramble』CD\2,573-(本体\2,450-)

とてつもない天才オールドタイム・フィドラーが登場だ。オールドタイム／フォーク新入荷参照。

TFSM-0001 西海 孝『空を走る風のように、海を渡る波のように』CD\2,500-(本体\2,381-)

ブルーグラス若旦那からテキーラ・サーキットのメンバーとして知られ、現在は森山直太郎のサポート・ミュージシャンである西海のデビュー作。フォスターを中心に明治時代に渡来した曲にあたらしい日本語で。オールドタイム／フォーク新入荷参照。

BCD-16929 GEORGE JONES『A Good Year for the Roses:The Complete Musicor Recordings 1965-1971(Part 2)』4CD+52Page Book\14,438-(本体\13,750-)

ホンキートンクこぶしの権化、ジョージ・ジョーンズの決定盤!!　カントリー発掘新入荷参照。

●特集! Red Clay LPs with CDR

1980年代に発表した我がレッド・クレイ・レコードLPにCDRを付けて再発売です。80年代のホットな日本ブルーグラスの実力に、驚きますヨ!!5ページ参照。

ブルーグラス新入荷

SH-4049 SARAH JAROSZ『Song Up in Her Head』CD\2,573-（本体\2,450-）（歌詞付）

Edge of a Dream/Tell Me True/Left Home/Can't Hide/Long Journey/Come on Up to the House 他全13曲

ムーンシャイナー最新7月号の表紙を飾った少女、2003年当時12歳のシエラ・ハルやコリー・ウォーカーらと共にIBMAアワード・ショウでデビューしたサラ・ジャローズ、満を持してのシュガーヒル・デビュー作。今春高校を卒業した18歳、マンドリンのスーパーピッカーという一面を持ちながら、その圧倒的な音楽センスをベースにしたシンガーとして、ソングライターとして、ブルーグラス仲間から、またローリングストーンズ誌から「天才」の名を冠せられる、納得の秀作だ。1曲目のクリス・シーリ＋ジェリー・ダグラスとの超絶コラボから、ティム・オブライエンとのデュオによるすばらしい現代版アパラチア・バラッドとクロウハンマー・バンジョー、そして超絶マンドリン・インストではマイク・マーシャルを従えて……。そのほか、サラが導師というふたりの凄い女性シンガー、アビゲイル・ウォッシュバーンやイーファ・オドノバン、共にツアーをするふたりの天才少年アレックス・ハーグリーブス(f)とサムソン・グリスマン(bs、デビッドの息子)、クリス・エルドリッジ(g、ベンの息子)……、そして最後の曲はクリス・シーリとふたりだけのデュオ。そのアパラチアン・トラッドシンガーにも伍するボーカル、「女ティム」と賞賛される創作才能、そしてクリスと渡り合う楽器テク……。スリーフィンガー・バンジョーこそ入っていないが、まぎれなく21世紀のブルーグラスをリードする、またしても凄い才能のひとり、爽快デビューである。ティムが「ニュー・オールドタイミー」と称する彼女ほか、近年の、おもに女性がリードするアパラチアとオールドタイムそしてブルーグラスの状況については、(ブルーグラスを化石にしたくない人は…!?）ムーンシャイナー7月号を参照ください。ブルーグラス世界はより深く、よりすばらしく変貌中!!

ROU-0623 RHONDA VINCENT『Destination Life』CD\2,573-（本体\2,450-）

Last Time Loving You/Heart Wrenching Lovesick Memopries/Stop the World/Crazy Love 他全12曲

前作『Good Thing Going』(ROU-0592 \2,573-)

から１年、矢継ぎ早に新作を発表するロンダ・ビンセント最新作。グラスカルズから移籍したアーロン・マクダリス（ｂｊ＝ムーンシャイナー誌６月号特集参照）とベン・ヘルソン(ｇ)の新人にハンター・ベリー(ｆ)といっためちゃくちゃ活きのいい若者たちにミッキー・ハリス(ｂｓ)のザ・レイジを擁したロンダ、曰く「何も用意せず、みんなでスタジオであたらしい音楽を創りましょう」と創り上げたアルバムという。ストレートなハード・ドライブ・ブルーグラスからバラード、バック・オウエンズのメキシカン調のウキウキ曲やポコの名曲カバー、かと思えば超有名フィドル・チューン"Eighth of January"等々、５歳のときからファミリー・バンドでエンターテイメントの世界に鍛え上げられた女性、聴く者の期待を裏切らずにきっちりと楽しませてくれる。アリソン・クラウスと並んで、ブルーグラス・クィーンとも呼ばれるロンダ・ビンセント。ハイレベルなミュージシャンに囲まれて、堂々とした女性ブルーグラスの王道を演じてくれる。

REB-1829 LOST & FOUND『Love, Lost and Found』CD\2,573-（本体\2,450-）

Back in Her Arms/I Want to Be Wanted/Don't Let Your Sweet Love Die/Trail of Sorrow 他全13曲

このアンサンブルと楽器の気色良さ……、知らないと損をする！ブルーリッジ系ブルーグラスのパイオニア／大御所、ロスト&ファウンドの最新作。1980年代がはじまると同時に、４人組フィドルレスの典型的なブルーグラス・バンドを、見事な音の整理／統合で、各楽器が響くスペースをそれぞれ絶妙に配分し、そこからあたらしいサウンド・スタイル（のちにコンポラソリッドとかブルーリッジ系と称した）を提示した彼ら、とくに本作でも７曲が収められている故デンプシー・ヤングが参加している曲のすばらしさは筆舌に尽くしがたい("Tenn. Waltz"と"Ky. Waltz"のメドレーの心憎いコントロール!!)。2006年12月、52歳で他界したデンプシー（ムーンシャイナー誌07年12月号にて追悼特集)、絶頂期のバック・ホワイトに磨きをかけて高次元に昇華したような独自のマンドリン（そのデリケートさは現メンバーのスコット・ネイピアに上手く受け継がれている）が凄い。もうひとりのオリジナルメンバー、アレン・ミルズ(ｂｓ)のすばらしいボーカル、そして代々のバンジョー奏者が守ってきたユニークさをキープするロナルド・スミス(ｂｊ)、そしてちょっとこぶしを利かせるスッティー・スパークス(ｇ)が、どの曲もどこか馴染みやすい古き良きメロディーを思わせる選曲等々。ロスト&ファウンドのアンサンブルを知っているか？知らないか？……あなたのバンド（またはお耳）の音整理が進みますよ。絶対お勧めのバンドサウンド!!

COMP-4504 BEARFOOT『Doors and Windows』CD\2,573-(本体\2,450-)

Oh My Love/Single Girl, Married Girl/Heaven/Before I Go/Caroline/Don't Let Me Down 他全11曲

先月ビルボード・ブルーグラス・チャートのナンバーワンをヒットしたベアフット。すでに９年のキャリアを持つアラスカ出身の話題バンドだが、ビスケット・バーナーズのオデッサ・ジョーゲンソン(ｆ)が新加入、そのノーラ・ジョーンズを思わせるようなちょっと気だるいフォノジェニックなボーカルを全面に押し出して「ニュー・オールドタイミー」に大変身。バンジョーレスで女性ツイン・フィドルにベース、そして男性マンドリンとギターの５人組。ゲーリー・ウエストのプロデュースのもと、ゲストにラリー・アタマヌイックのパーカッションに、アリソン・ブラウン、アンディ・ホール、アンドレア・ゾンを迎え、カーター・ファミリー、ジョン・ハイアット、そしてビートルズのカバーほか、メガン・マコーミックをはじめとする友人ソングライターの作品とオリジナル。現在、メジャーメディアでもっともトレンディーなブルーグラスはオールドタイムとアメリカーナのコラボ。前述のサラ・ジャローズや先月のサラ・ワトキンスら、ブルーグラスのテクニックを身につけたオールドタイミーな女性たちが、かっこいいぞ!!

REB-1827 DAVID DAVIS & WARRIOR RIVER BOYS『Two Dimes & a Nickel』CD\2,573-（本体\2,450-）

I've Been All Around/Blue Ridge Mountain Skies/I Can Hear Daddy Play the Fiddle/Train That Carried My Girl from Town/Broken Promise 他全12曲

グランパ・ジョーンズの名曲を１曲目に、モンロイズムを意識しながら、アメリカ南部アラバマで家族の伝統を受け継ぐデビッド・デイビス。彼の父親は若い頃、兄弟たちクリオ・デイビスらとブラザー・デュオを楽しんでいたという……、そう！

1938年にビル・モンローが雇った最初のブルー・グラス・ボーイ、あのクリオ・デイビスが叔父にあたる。父は第二次大戦に従軍して腕を失くしたものの、音楽への情熱はデビッドにそのまま譲られたという。前述のグランパの曲のほか、ドック・ワトソンやフラット＆スクラッグスで知られるトラッド、そしてジム・イーンズ曲、トラッドグラスの王道を継承しながら、マーシャル・タッカー・バンドの74年ヒット"Blue Ridge..."なども取り上げ、かつてのバンドメンバーや友人たちが書いたあたらしいオリジナルにも果敢に挑戦する最新作。あのチャーリー・クライン（ロンサム・パインからモンロー）をゲストにかつぎ出したデビューのラウンダー時代からすでに20年、背筋を伸ばし、ステットソン帽を被り、ロイド・ロアーを抱える姿は彼のヒーロー、ビル・モンローを髣髴させるデビッド、現在のトラッドグラスを丁寧に演じている。前作2006年作『Troubled Times』(REB-1817 \2,573-)もすばらしい。

FGM-128 V.A.『Flatpicking Bluegrass』CD\2,888-（本体\2,750-）

My Home's Across the Blue Ridge Mtns/East Virginia Blues/Six White Horses/Long Journey Home/I'll Stay Around/Banks of the Ohio 他全12曲

現在、第一線級フラットピッカーたちが、「ブルーグラス・シンガー」というコンセプトの中で、まったく同じメンバーのバンドをバックに、各人の主張を聴かせるというティム・メイ制作、全曲新録音の面白い企画作品。サム・ブッシュ・バンドのスティーブ・モウギンのキツーイ・ブルーグラス・ビートを一曲目に、ジェフ・ホワイト、ジョッシュ・ウィリアムズ、ティム・スタッフォード、ケニー・スミスほかが自分たちのバンドを離れて超スタンダード・ブルーグラス曲を演じるお楽しみ作品。バックアップはシャド・コッブ(f)、クリス・ジョスリン(bj.d)、デイブ・ハービー(m)、チャーリー・チャドウィック(bs)。ブルーグラス・ギターの真髄はリズム／ビート、そして歌モノでの間奏＝メロディ感覚／解釈にあるのだぞ!

PATUX-189 DEDE WYLAND『Keep the Light On』CD\2,573-（本体\2,450-）

Everything That Glitters/Memory of Your Smile/Devoted to You/Going Away/Chime Bells 他全11曲

1980年代、トニー・トリシュカ＆スカイラインのリード・ボーカリストとしてたびたび来日、南部の女性ボーカルとは一線を画した透明感のある「エンジェリック・ボイス」で多くのファンをつかんだディディ・ワイランド、久々の最新作。ワシントンDC地区で活躍をつづけるディディをバックアップするのは、随所で驚きのフレーズを聴かせるマイク・マンフォード(bj)、安定したリッキー(m,f)とロニー(bs)のシンプキンズ兄弟、そして美しいリードも聴かせるワイアット・ライス(g)。DCグラスらしく、ダン・シールズやデビッド・アルビンらのポップ／ロック、ユタ・フィリップスやブライアント夫妻、エルトン・ブリット（ディディ得意のヨーデル!!）らのフォーク／カントリー、そしてカーター・スタンレーなどのカバーをメインに、なんだか「女性版セルダム・シーン」を思わせる作品に仕上げている。

REB-1826 BARRY SCOTT & SECOND WIND『In God's Time』CD\2,573-（本体\2,450-）

Take a Moment and Live/Is That the Lights of Home?/Oh What a Day/On the Wings of Angels 他全14曲

歯切れの良いバンジョー・ロールと軽快なリズムに導かれて、クイックシルバー譲りの完璧なトリオやカルテット・コーラスをバックに、バリー・スコットの硬質なテナーボイスが美しいメロディーに乗っていく。1996年から9年間、ジェイミー・デイリー（デイリー＆ビンセント）と共にドイル・ローソン＆クイックシルバーのリード・ボーカリストとしてそのピークを作り上げたバリーが20代のスーパーな若者たち、マシュー・マンゼィ(m)、ゼーン・ペティ(bj)、トラビス・ホック(d)らとともに結成したあたらしいブルーグラス・ゴスペル・バンドのデビュー作である。かつてのゴスペル・パターンと違って、現在ではさまざまなコーラス手法やリズムの取り方で微妙なサウンド変化を楽しめる、すばらしい作品になっている。ビンス・ギルがゲスト参加している。

TB-2008 TENBROOKS『Thoroughbred Bluegrass』CD\2,573-（本体\2,450-）

Old Lonesome Times/Honey Get Me on Your Mind/Don't Sweetheart Me/When the Golden Leaves Begin to Fall/Helen/I'll Drink No More Wine 他全14曲

アメリカのトラッドグラスの牙城（意外でしょうが……）、サンフランシスコで1990年結成のテンブルックス。ウィルバーン・ブラザーズやカール・スミスらの古いカントリーや、ビル・モンロー、ジミー・マーティンなどのブルーグラス・スタンダードとオリジナル全14曲。キャシー・キャリック・バンドなどで知られるトム・ベックニー(m)を中心に、デビッド・プットナム(g)、ロビー・マクドナルド(bj)、ジェリー・ローガン(bs)に、グレッグ・スパッツ／ケビン・ウィマー(f)が真っ正直なストレート・ブルーグラスを聴かせる。

ROU-0609 NEWFOUND ROAD『Same Old Place』CD\2,573-（本体\2,450-）

数々の新人トラッド／ソウルグラスを発掘してきたラウンダーレコードのケン・アーウィンのお眼鏡にかなったのはティム・シェルトンの強力ボーカリストを中心に、オハイオの濃いトラッドグラス伝統を踏まえた新進ハードコア・ブルーグラス、ニューファウンド・ロード。これまでゴスペル一途だった彼らが、世俗テーマに挑んだ最新ラウンダー第2弾。最近のソングライター作品が主だが中盤以降、スタンレーの"I Am the Man Thomas"からカーターの"Lonesome River"にいたるあたりで実力勝負だ。ご多分にもれない今どきのスーパーピッカーを制御するのはジム・バン・クリーブ、マウンテンハートのフィドラーである。

TINMAN2008 LARRY GILLIS『Old Man Dreaming』CDR\2,573-（本体\2,450-）

I'll Stay Around/Little Glass of Wine/Pass Me Not/Kentucky Mandolin/True Love/Homesick 他全12曲

スタンレー・サウンドを標榜するバンドは多いが、中でもその真っ正直さ／泥臭さにおいて右に出る者のなかったギリス・ブラザーズ。彼らは1990年代末にバンドを解消、引退して子育てに専念したが、ここにバンジョーのラリーが復活だ。かつてのバリア・ブラザーズを思い出してしまった1曲目は、バリバリのスタンレー・ピッキンのバンジョーでフラット&スクラッグスを唄うというコンセプト。その後も「ジョージア・スワンプのマウンテン・ミュージック」と称された自らのバンド、その名もハード・ドライビング・ブルーグラス・バンドの名に恥じぬサウンドを聴かせる。ラリー・ギリスは46歳、10代のバンド・メンバーを引き連れて、真っ正直な泥臭さいトラッドグラスだ。

ブルーグラス発掘＆編集モノ新入荷

REB-7523 MAC WISEMAN『Bluegrass Hits and Heartsongs』CD\2,079-（本体\1,980-）

My Little Home in Tennessee/Don't Let Your Sweet Love Die/Letter Edged in Black/Knoxville Girl/Four Walls Around Me/Georgia Waltz 他全14曲

1970年代中頃にフレッド・バーテンスタインらによってベトコ社に録音されたマック・ワイズマン（1925～）の名作LP『New Tradition』の第1集と第2集の中から選ばれた14曲集。当時、よく共演していたシェナンドー・カッタップス（ビリー・エドワーズbj、テイター・テイトf、ジョン・パーマーbs、ジェフ・ターフリンガーm）にバディ・グリフィン(f)と6曲でトミー・ボイド(d)をゲストに迎えた……、そうそう、最近のDVDベストセラー『MAC WISEMAN; Bluegrass 1971 with Lester Flatt & Chubby Wise』(MP-0208 \2,573-)をイメージしていただければいい。マックのボーカルは、「The Voice with a Heart」という称号どおりの絶好調。バーテンスタインはおそらく、この絶頂期をトラッド／ソリッドグラス・サウンドをバックに残したかったのだろうと、今からなら想像できる秀作だ。

GT7-0696 COUNTRY GENTLEMEN『Bluegrass at Carnegie Hall』CD\1,575-（本体\1,500-）

I know I've Lost You/Nobody's Business/Country Concert/A Letter to Tom/Two Little Boys/Red Rocking Chair/I Never Will Marry/Sunrise 他全14曲

1962年にスターデイから発表されたカントリー・ジェントルメン初期の名盤が再発である。10年ほど前にCD2枚組の『High Lonesome; Complete Starday Sessions』（廃盤）にも収められていたが、現在は本作のみでしか聴けない初期のカンジェン。故ジョン・ダッフィ、故チャーリー・ウォーラー、そしてエディ・アドコック（7月22日『世界仰天ニュース』日テレ系列にエディ出演!!お見逃しなく）、トム・グレイ。1961年にカーネギーホール出演を果たしたことをタイトルにしたもので、ライブではなくスタジオ録音もの。

ブルーグラスお勧め作品

（すでに新入荷などで紹介済みの作品です）

■特集! Red Clay LPs with CDR

以下のレッド・クレイ・レコードLP作品に、CDRを付けて2-30年ぶりの登場。温故知新、すばらしい日本のミュージシャンたちが創ってきた日本ブルーグラスの歴史を振り返ってみてください……!!

RC-106LP V.A.『The 8th Takarazuka Bluegrass Destival』LP+CDR\2,258-(本体\2,150-)

Fastest Grass Alive/Oh, Las Vegas/Help/Blue & Lonesome/Lonesome Feeling/Could You Love Me One More Time/Roll in My Sweetbaby's Arms 他全14曲

1979年夏、もっともホットだった時代の宝塚ブルーグラス・フェスの記録。全国から集まった若者が、ゴローショーの「スーダラ・ブレイクダウン」に笑い転げ、タイムスリップした重鎮シャギー・マウンテン・ボーイズの登場に驚き、20代最後の年を迎えた笹部益生＆大西一由や渡辺三郎＆AHOに、当時の若者たち、奥沢明雄、ブルーグラス・ナッツ、弟マウンテン・ボーイズ、キープ・オン・グラス、グラス・ストアー、サウスバウンド、ハンプティ・ダンプティ・ヒポポトマス、相撲スペシャルら、学生たちのほとばしるようなブルーグラスがめちゃくちゃ爽快だ。あれから30年、今年も38年目の宝塚ブルーグラス・フェスの季節だ。

RC-108LP 大矢貞男『Beaumont Rag』LP+CDR\2,258-(本体\2,150-)

Panhandle Country/Used To Be/Shenandoah BRD/Kentucky Waltz/Song for Life/Minor Swing 他全12曲

1985年、現在はジャズフィドラーとして東京ホット倶楽部バンドなどで活躍する大矢貞男が、有田純弘(bj)、赤木一孝(g,v)、谷村順造(m)、アンドレ佐藤(d)、久永雅史(m,v)らと創ったデビュー作。ビル・モンロー・スタンダードを軸にポップな仕掛けやジャズなアイデアを振りかけた、70～80年代関西ブルーグラスの決定盤。ジャズに首まで浸かった大矢は、「もうブルーグラスは弾けない」と言うが、現在も日本ブルーグラスのトッププレイヤーとして活躍する彼らの斬新なアイデアと、「何でもやってやろう!!」の向こう見ずな若い覇気がすばらしい。

RC-110LP HARVEST MOON『I Belong That Music』LP+CDR\2,258-(本体\2,150-)

Pack Up Your Sorrow/Sad & Lonesome Day/Little Darling's Not My Name/Peter & Nancy/Yuki-Usagi/Give Me Back That Old Familiar Feeling 他全12曲

今春、20年ぶりに再結成し全曲オリジナルのCDアルバム『In the Wind』(RC-123 \2,573-)を発表したハーベスト・ムーン、本作は彼らの1989年のデビュー作である。学生時代から京都で活躍していた彼ら、「和製ブルーグラス」を標榜するさわやかな女性ボーカルを中心にした癒し系日本ブルーグラス名作。20年前、米国で女性ブルーグラスが「わたしの名前はリトル・ダーリンじゃないわよ!」と主張しはじめたとき、５人の優しい日本男性は「京おんな」のたおやかなブルーグラスを見事に支えていた!!

■特集! 2009年上半期ベストセラー

早いもので2009年も半分を過ぎました。曲のヒットを重視するポップ系作品などのCDアルバムの売り上げが苦戦の一方、アーティストで評価することが多いクラシックやジャズ、そしてブルーグラスなどの売り上げは堅調とリポートされています。現在在庫中の、上半期の話題作を紹介します。

MCM-0050 DEL McCOURY『Celebrating 50years』CD５枚組\5,040-（本体\4,800-）

ブルーグラスのもっとも正統的な伝統を継承するデル・マッカーリー、デビュー50年を記念した素晴らしい５枚組ボックスセット。デビューアルバムの１曲目"I Wonder Where You're Tonight"から、ビル・モンロー時代にかれの歌でスタンダードとなった"Dark Hollow"ほかの名曲を、現在最高のトラッドグラス・サウンドを誇る無敵のデル・マッカーリー・バンドが新録音でつぎつぎと看板50曲を演じる。今年２月１日に70歳になったデル自身のリズムと歌がバンドを引っ張っていくすさまじいソリッドグラスが快感!!　やっぱ、デル!!…スゴ過ぎます。なお、上記ボックスから14曲を選んだ単盤『By Request』(MCM-0012 \2,573-)もある。

ROU-0634 BELA FLECK『Throw Down Your Heart: Tales from the Acoustic Planet, Vol. 3 - Africa Sessions』CD\2,573-(本体\2,450-)

ベラ・フレックのアコースティック・プラネット・シリーズ第３弾、テーマはバンジョーのルーツ（起源）であるアフリカとの出会い。ブルーグラス・バンジョー奏法のあらゆる手法を駆使して、アフリカのさまざまな楽器や歌とのコラボレーションで、すばらしいバンジョー音楽に仕上げているのだ。全バンジョーファンに強力にお勧めしたい愛すべき「バンジョー」の本質を提示してくれる大秀作。ムーンシャイナー６月号に特集！！

RHY-1044 MICHAEL MARTIN MURPHEY『Buckaroo Blue Grass』CD\2,573-（本体\2,450-）

数々のヒット曲を持つシンガーソングライター、マイケル・マーティン・マーフィーの最新作はブルーグラス。必ずどこかで聴いたことのある美しく優しいメロディー、"Lost River"や"Carolina in the Pine"が、マーフの甘いボーカル、パット・フリン(g)、チャーリー・クッシュマン(bj)、アンディ・レフトウィッチ(ｆ)、サム・ブッシュ／ロニー・マッカーリー(m)、ロブ・アイクス(d)ほか、申し分ないバックで見事なブルーグラス・サウンドになって流れてくる。現代のカウボーイ・ソングの気持ちよく爽やかなこと、その美しい流れに見事にはまるブルーグラス……「バッカルー・ブルーグラス!!」だ。

ROU-0603 BOBBY OSBORNE & ROCKY TOP X-PRESS『Bluegrass & Beyond』CD\2,573-(本体\2,450-)

ボビー・オズボーン、７７歳にしてこのすごいエネルギーはどうだ！！　１曲目のウキウキするジェリー・リード曲から一転、モンロー・ブラザーズの"What Would You Give"をマーティ・ステュアートとコニー・スミス夫妻をゲストに２曲目に配し、そのいずれもで意表をつくアレンジを施したオズボーン節。ほかに、イーグルス曲やロンダとダーリンのビンセント姉弟を迎えてのロレッタ・リン曲など、ボビーの艶のあるボーカルとハーモニーと凄いマンドリン。オズボーン・ブラザーズを解消してすでに３作目、そのいずれもが力に溢れている。前作『Bluegrass Melodies』(ROU-0582 \2,573-)も必聴！！

RCSI-1019 CODY KILBY『Many Roads Traveled』CD\2,573-

1993年、当時12歳だったスーパーピッカーたち５人がIBMAに登場、ブルーグラス界を震撼させた。そのうちの４人は現在28歳、21世紀のブルーグラスを背負う、クリス・シーリ、マイケル・クリーブランド、ジョッシュ・ウィリアムズ、そしてこのコディ・キルビーである。リッキー・スキャッグスのケンタッキー・サンダーでのツアーで培ったメジャー・ステージの数々が大きな背景にある自信に満ちた音粒の立ち上がり、そして広い世界を見たスケールの大きな楽曲構成など、コディのスケールの大きなオリジナル6曲のほか、グラム・パーソンズからスタンレーのカバーまで、飽きさせない11曲集。そうそう、コディは目の覚めるようなフラットピッキン・ギターと、きわめて上質なスリーフィンガー・バンジョーを弾くのです。

ROU-0612 ALECIA NUGENT『Hillbilly Goddess』CD\2,573-（本体\2,450-）

アリシア・ニュージェントのラウンダー３枚目最新作。カール・ジャクソンの強力なサポートによるプロデュースと、アダム・ステッフィ(m)、アンディ・レフトウィッチ(f)、ロブ・アイクス(d)、トーマス・ワイロット(bj)、ケビン・グラント(bs)に、ほぼ全曲にティム・スタッフォードとアンディ・ファルコの２台のギターを配する重量級基本セット。アコースティック楽器でのビッグサウンド、ジャクソンらしくカントリー・ヒットも狙えそうなアルバム作りを志向しているようだ。タイトル「ヒルビリー女神」通り、アリソン・クラウスやクレア・リンチ、デール・アンらの透明感のあるボーカルとは違う、南部の力強い歌唱力が魅力である。

COMP-4506 GIBSON BROTHERS『Ring the Bell』CD\2,573-（本体\2,450-）（歌詞付）

現在ブラザー・デュオ最高峰、ギブソン・ブラザーズのコンパス移籍第一弾。ニューヨーク北部の農業地帯で育ったエリックとレイのギブソン兄弟は南部アパラチアのブルーグラスとは一線を画したすっきりとしたトラッドグラスを身上に、レスター・フラット・ファンを自認するエリックとレイのオリジナルのほか、トム・ペティのカバーなどを、マイク・バーバー(ｂｓ)、ジョー・ウォルシュ

(m)、クレイトン・キャンベル(f)のバンド・サウンドで、ストレートな上品なトラッドグラスを聴かせてくれる。なお彼ら、2004年の『Long Way Back Home』(SH-3986 \2,573-)でのカバーヒット"Ophelia"はこのすばらしい兄弟デュオの入門編、必聴です!

RCSI-1018 STEVE MARTIN『The Crow』CD-R\2,573-（本体\2,450-）

ハリウッドの大スターで米国民的人気コメディアン、スティーブ・マーティンの愛情一杯のバンジョー・デビュー作!! ティム・オブライエンのボーカルとアール・スクラッグスのバンジョーを伴った1曲目から、ラス・バレンバーグ(g)、マット・フリナー(m)、クレイグ・イーストマン(f)、スキップ・ウォード(bs)らを基本セットに、ゲストのビンス・ギル&ドリー・パートン、アイリッシュのメアリー・ブラックらセレブたち、バンジョー仲間のトリシュカやワーニックらも参加、高校の同級生ジョン・マッキュエンのプロデュースで、全編に楽しい仕掛けが散りばめられたバンジョー作品。

PATUX-177 NATE LEATH + FRIENDS『Rockville Pike』CD\2,573-（本体\2,450-）

オールド・スクール・フレイト・トレインのフィドラー、ネイト・リースの最新作は、話題の「ニュー・オールドタイミー」を担う10代から20代前半の若いスーパーピッカーたち、ふだんは前衛グラスやジャズで遊ぶ彼らの本気オールドタイム。タティアナ・ハーグリーヴス(f)、サラ・ジャローズ(bj)、エリック・ロバートソン(m)、ベテランのダニー・ナイセリー(g)、マーク・シャッツ(bs)らが基本セット。伝統的なフィドル・チューンやバラッドの精神を体現しつつ、ギリアン・ウェルチ作品や有名トラッド曲を並べ、アルバムとしての面白さも音楽の質と同時に満足させてくれる秀作。本物の魂に近づきたいブルーグラッサーにぜひ勧めたい名品だ。

RHY-1042 AUDIE BLAYLOCK & REDLINE『Hard Driving Bluegrass』CD\2,573-（本体\2,450-）

「ハード・ドライヴ」と米国では形容されるエネルギーを前面に、1950～60年代のブルーグラス名曲を現代によみがえらせるオーディ・ブレイロックの最新作は、ジミー・マーティンとボブ・オズボーンの"You'll Never Be the Same"やレッド・アレンの"Send Me Your Address from Heaven"、"My Blue Eyed Darling"をはじめ、これでもか!と言わんばかりの渋いトラッドグラス名曲揃い。絶え間なくロールするバンジョー（エバン・ウォード）とアグレッシヴなフィドル（パトリック・マカビニュー）はともに10代、ソリッドなリズムをキープする20代前半のジェイソン・ジョンソン(m)とマット・ウォーレス(bs)の若者たちとともにバンドサウンドで勝負する快作である。ムーンシャイナー2月号表紙特集。

AMA-1051 MIKE MARSHALL'S BIG TRIO『Mike Marshall, Alx Hargreaves, Paul Kowert』CD\2,573-（本体\2,450-）

30年ほど前、神童としてデビッド・グリスマン・クインテットに招かれたマイク・マーシャル、そんなマイクが今度は神童ふたりを自身の翼に入れて創り上げたアコースティック・トリオのデビュー作。16歳の天才フィドラー、アレックス・ハーグリーブスと、昨年11月クリス・シーリらのパンチ・ブラザーズに迎え入れられた22歳のベーシスト、ポール・コートとのトリオはストレングス・イン・ナンバーズがクラシック室内楽を視野に入れた「1989年革命」（ムーンシャイナー誌最新6月号特集参照）を意識したようなオリジナル曲を聴かせる。クラシックとオールドタイムとニューアコースティックが同居、圧倒的なマンドリン・テクニシャン、マイクがこの20数年で経験してきた大きな世界観が聴きモノだ。

COMP-4511 DALE ANN BRADLEY『Don't Turn Your Back』CD\2,573-（本体\2,450-）

アリソン・ブラウンがほれ込んだベテラン女性ブルーグラッサー、デール・アン・ブラッドリーの最新作。IBMA最優秀女性ボーカルを07、08年と連続受賞、06年の前作『Catch Tomorrow』(COMP-4445 \2,573-)もベストセラーだ。アリソン・ブラウンみずからのブルーグラス・バンジョーとステュアート・ダンカン(f)のふたりがバッチリと脇を固め、スティーブ・ガリーやデイリー&ビンセントやクレア・リンチらのゲスト・ボーカル。バラエティに富んだ選曲とサウンドでデリケートな女性らしいボーカルを楽しませてくれる。

BE-2009 BLUEGRASS EXCHANGE『Melting

Borders』CD\2,573-（本体\2,450-）

４月に全国ツアーをしたマロ川端とサミー・シーラーのブルーグラス・エクスチェンジの最新作。在米で活躍するギター／ボーカルのマロとＩＢＭＡ最優秀バンジョー奏者サミー、そしてサミーのロンサム・リバー・バンド(ＬＲＢ)ではマンドリンとテナーを担当するアンディ・ボール(ｂｓ)に秋元慎(ｍ)といった固定メンバーに、今回初参加の女性フィドラー、レイチェル・ジョンソンを加えた５人組が、それぞれの個性を尊重しつつバンドサウンドを創る。マロが育った７０年代のＤＣグラスの落ち着いたサウンドを念頭にした音作りのソフトなブルーグラス。

REB-1825 JUNIOR SISK & RAMBLERS CHOICE『Blue Side of the Blue Ridge』CD\2,573-(本体\2,450-)

ブルーリッジ系ブルーグラスのトラッドグラス回帰がはじまった９０年代、そのソウルフルなボー　カルで人々を驚かせたジュニア・シスクのランブラーズ・チョイス最新作である。ロニー・ボウマン　をプロデューサーに迎え、トラッドに根ざした典型的なブルーリッジ系サウンドを聴かせてくれる。　ムーンシャイナー０８年８月号に特集記事あり。
なお、シスクには、アラン・バイビー(ｍ)と当時弱冠２０才、話題のジョーイ・コックス(bj)を擁した、その名もブルーリッジとしてシュガーヒルに『Ｓｉｄｅ by Side』(SH-3981 \2,573-)アルバムがある。

RHY-1044 MICHAEL MARTIN MURPHEY『Buckaroo Blue Grass』CD\2,573-（本体\2,450-）

Lone Cowboy/What Am I Doing Hanging Around/Lost River/Carolina in the Pine/Cherokee 他全11曲

数々のヒット曲を持つシンガーソングライター、マイケル・マーティン・マーフィーの最新作はブルーグラス!!　必ずどこかで聴いたことのあるあの美しく優しいメロディーが、マーフの甘いボー　カル、そしてパット・フリン(ｇ)、チャーリー・クッシュマン(bj)、アンディ・レフトウィッチ(f)、サム・ブッシュ／ロニー・マッカーリー(ｍ)、ロブ・アイクス(d)ほか、ゲスト・ハーモニーにロンダ・　ビンセント等の見事なブルーグラス・サウンドになって流れてくる。現代のカウボーイの気持ちよ　く爽やかなこと、その美しい流れに見事にはまるブルーグラス……、これぞまさしく現代の自然派　サウンド「バッカルー（カウボーイ）・ブルーグラス!!」だ。

PC-1163 DIXIE BEE-LINERS『Ripe』CD\2,573-(本体\2,450-)

４月にマロ川端＆サミー・シーラーのブルーグラス・エクスチェンジで来日した女性フィドラー、レイチェル・ジョンソンを含むディキシー・ビーライナーズの全米デビュー作。メインボーカリストの女性、ブランディ・ハートのユニークなソングライティングに独自のアレンジを施し、どの曲も新鮮なサウンドを提示する。ケンタッキー生まれのブランディとニューヨークのオルタナ・カントリーで名を売ったバディ・ウッドワードがニューヨークで結成、その後アパラチアのど真ん中、ブリストル近郊に本拠を移し、ＥＴＳＵを卒業したレイチェルのほか、サム・モロー(ｂｊ)らのメンバーに、マーク・フェイン(ｂｓ)、アンディ・レフトウィッチ(ｍ)、ディブ・タルボット(ｂｊ)、アンディ・　ファルコ(g)らがサポート。ストーリー性のある女性ブルーグラス秀作。

RHY-1042 AUDIE BLAYLOCK & REDLINE『Hard Driving Bluegrass』CD\2,573-(本体\2,450-)

「ハード・ドライヴ」と米国では形容されるエネルギーを前面に、1950～60年代のブルーグラス名曲を現代によみがえらせるオウディ・ブレイロックの最新作は、ジミー・マーティンとボブ・オズボーンの"You'll Never Be the Same"やレッド・アレンの"Send Me Your Address from Heaven"、"My Blue Eyed Darling"をはじめ、これでもか！と言わんばかりの渋いトラッドグラス名曲揃い。絶え間なくロールするバンジョー（エバン・ウォード）とアグレッシヴなフィドル（パトリック・マカ　ビニュー）はともに10代、ソリッドなリズムをキープする20代前半のジェイソン・ジョンソン(ｍ)と　マット・ウォーレス(ｂｓ)の若者たちとともにバンドサウンドで勝負する快作である。ムーンシャイ　ナー２月号表紙特集。

RC-123 HARVEST MOON『In the Wind』CD\2,573-(本体\2,450-)

２０年ぶりに復活したハーベスト・ムーンの最新アルバム。京都の学生ブルーグラスが持つモダニズムを昇華したようなサウンドで「和製ブルーグ

ラス」を標榜する彼ら、この最新作でもお茶目な仕掛けを残しつつ、ちょっと大人になった全曲英詩のオリジナル作品集。ハーベスト・ムーンは自分たちの言葉で、自分たちの音楽を創り上げている。ぜひ、聴いてみて欲しい。ムーンシャイナー誌４月号の表紙に登場、特集がある。...Support Your Music!!

RC-124 TIPTON HILL BOYS『Songs We Like』CD\2,573-(本体\2,450-)

フラット&スクラッグスのトーンとオズボーン・ブラザーズのボーカル／ハーモニーを合体させたようなティプトン・ヒル・ボーイズの最新作はタイトル通りの懐メロ集。クリス・シャープ(ｇ)、ジョージ・バックナー(bj)、ケビン・スクルーダー(ｂｓ)のトリオ編成で、いまどきのスマートなブルーグラスとは違う懐かしいリズムに乗って、重たいトーンのバンジョーが駆け巡り、ボビー張りのテナーが炸裂、ハーモニーが決まる。今年３月から４月にかけて全国ツアーした彼ら、ムーンシャイナー誌2008年3月号でバンドの特集、また2007年5月号では、バックナー家４代目のバンジョー奏者ジョージと、その土地の伝統が紹介されている。

■ムーンシャイナー最新７月号特集関連作品

（ブルーグラス専門月刊誌のムーンシャイナー最新７月号は\525-。以下は特集記事の関連作品）

SH-4049 SARAH JAROSZ『Song Up in Her Head』CD\2,573-（本体\2,450-）（歌詞付）

７月号のカバーストーリです。詳細はブルーグラス新入荷参照。

MCM-0050 DEL McCOURY『Celebrating 50years』CD ５枚組\5,040-（本体\4,800-）

ハイロンサム・ブルーグラスの権化、「デル・マッカーリーの50年」を論じています。本作品の詳細は【2009年上半期ベストセラー】参照。

TFSM-0001 西海 孝『空を走る風のように、海を渡る波のように』CD\2,500-(本体\2,381-)

バンジョー／ギターの達人デビューソロ!! 越田優子のホレボレ音楽人インタビュー特集。詳細はオールドタイム／フォーク新入荷。

PC-6511 JASON DAVIS『Steppin' Out』CD\2,573-(本体\2,450-)

７月号の「吉岡正の闘魂バンジョー」は、若干18歳のジェイソン・デイビス。昨年のIBMA最優秀インスト・アルバムの最終候補に選ばれたグラスタウンのバンジョー奏者のソロ・デビュー作。

RW-CTAB CLARENCE WHITE『The Essential Clarence White Bluegrass Guitar Leads』102頁Book+CD２枚組\6,930-（本体\6,600-）

兄ローランドによるクラレンス・ホワイト物語連載の第５回。不世出の天才ギタリスト、クラレンス・ホワイトの教則本。

インスト新入荷

RCD-05335 ROB ICKES『Road Song』CD\2,573-（本体\2,450-）

Caravan/You Win Again/If I Had You/West Coast Blues/Nearness of You/Take the "A" Train 他全10曲

IBMA最優秀ドブロを10回受賞しているロブ・アイクスが、マイケル・アルビーのピアノとのデュオで贈るジャズ・スタンダード10曲。ハンク・ウィリアムズ"You Win Again"を含む3曲ではロビネラのすばらしい女性ボーカルが聴く者をさらに癒してくれる。どー言えばいいか、ピアノの広がりのある響きの中で、ドブロしか持ち得ない独特の呟きや呻きが見事に混ぜ合わさって、めちゃくちゃ気色いい音を創っている。左手に持った鉄のバー、これ一本だけから創られる信じられない豊かな音を、目を閉じてゆったりと聴きたい。

AMA-1021 MIKE MARSHALL『Brazil Duets』CD\2,573-（本体\2,450-）

Um a Zero/Fla-Flu/Karate/Indifference/Descendo a Serra/Golden Eagle Hornpipe/Gostoshinho 他全12曲

マンドリン界最高のテクニシャンのひとり、マイク・マーシャルの１９８７年デビュー作『Ｇａｔｏｒ Ｓｔｒｏｕｔ』からほぼ10年を経た1996年に発表された自身名義のソロ２枚目に当たる作品が、別テイクのボーナス３曲を加えて2005年に再発売された全17曲。ブラジルのショーロ音楽が主なテーマだが、あのミュゼット名曲"Indifference"をベラ・フレッ

クとの目くるめくデュオ、またアメリカン・フィドル"Golden Eagle Hornpipe"をエドガー・マイヤーとなど、お楽しみもタップリ含んだ秀作である。

COMP-4503 MATT FLINNER TRIO『music du jour』CD\2,573-（本体\2,450-）

Inferno Reel/Golden Zone/Stomp Hat/Half Moondog/Tell Me One More Time/Falling Rock 他全12曲

最近ではヒット作、クラレンス・ホワイト教則本の採譜で知られるマルチ・インストルメンタリスト、マット・フリナーのマンドリンを中心に、トニー・ファータド・バンドにいたロス・マーティンのギター、ジャズ／ロックで長いキャリアを経たのちトラッドグラスのオープン・ロードのベースを担当するエリック・ソーリンのアコースティック・トリオのデビュー作。マットのブルーグラス出身感覚とロスとエリックのフレキシブルな感性が出会い、３人が各４曲の全12曲。2006年夏からツアーとリハーサルを繰り返して準備したというスリリングでデリケートなアンサンブルを聴かせてくれる。コリングス・ギターとギルクリスト・マンドリンの美しい響きもご堪能ください。

OXCD-6030S CLARENCE WHITE『White Lighetnin' Special Edition』CD+DVDR\2,888-(本体\2,750-)

今年１月にお知らせしたクラレンス・ホワイトのおもにストリング・ベンダーを駆使したエレキギタリストとしての録音を集めたCDアルバム（アコギはバーズの"Sally Goodin"を含み３曲）に、ザ・バーズ時代の"Truck Stop Girl"と"Take a Whiff on Me"の２曲が収められたボーナスDVDのオマケが付いた物（初回入荷分購入者には対応済み）。シエラ・レコードのクラレンスお宝音源シリーズ、６カット以外の12曲は初CD化だという。なお、クラレンスのアコースティック・ギターをフィーチャーした特別限定盤『Flatpick』(SZCD-6026 CD２枚組\3,098-)の在庫もまだあります。楽器別インストお勧め作品「ギター」の項を参照ください。

各楽器別インストお勧め再入荷作品

（楽器につきましては、楽器本体やパーツから教則物まで、各種取り扱っています。お気軽にお問い合わせください）

■ギター

RHY-1025 CLAY JONES『Mountain Tradition』CD\2,573-（本体\2,450-）

おそらく、世界最速フラットピッキンのひとつとなる"Big Mon"他、クレイ・ジョーンズによるブルーグラス・スタンダード・インスト集。アダム・ステッフィ、ジム・バンクリーブ、ロン・スチュワート、ジェイソン・ムーアといったトップピッカーをバックに演じる。…メチャ強烈です。

SZCD-6026 CLARENCE WHITE『Flatpick』CD ２枚組限定盤\3,098-(本体\2,950-)

シエラ・レコードが発掘したクラレンス・ホワイトの未発表音源集の特別限定盤。ディスク１はレギュラー盤『Flatpik』(RHY-1024)と同じ19曲、そしてディスク２が本作のみ限定という１５曲。1970年、バーズ在籍中のクラレンスがロジャー・ブッシュのリズム・ギターを伴って２チャンネル・ステレオで録音した９曲と、ギター・インストラクション・テープからの３曲、73年春のライヴ・テイク２曲、そして最後にハンクの"Lost Highway"を唄う。

■バンジョー

（ムーンシャイナー連載のチチ松村「バンジョー祭り」、お見逃しなく!!）

HUB-2005 V.A.『Huber Banjos Sessions Vol.2, Cuppa 'Jo』CD\2,573-（本体\2,450-）

ヒューバー・バンジョーをエンドースする一流ピッカーがつぎつぎと、バンジョー・スタンダード曲を聴かせる第２弾。先月紹介の第１弾『Team Flathead, The Huber Banjos Sessions』(HUB-2003 \2,573-)とともに、プリウォー・ギブソン・フラットヘッドのトーン再現を目指す、ジム・ミルズ（ケンタッキー・サンダー）、グレイグ・ケイヒル（スペシャル・コンセンサス）、スティーブ・ディリング（サード・タイム・アウト）、ジェイソン・バールソン（ブルー・ハイウェイ）、ジェイソン・デイビス（グラスタウン）、ジョーイ・コックス（クイックシルバー）、そしてシア・チェリーホームズ（チェリーホームズ）。現在第一線のバンジョイストたちが各２曲ずつ、

BM-4192 CORY & JARROD WALKER『New Branches』CD\2,573-（本体\2,450-）

昨夏シエラ・ハル＆ハイウェイ１１１で全国ツアーをしたコリー・ウォーカー18歳、ドライブ一

杯のストレート・バンジョーと同時に、ベラ・フレックやスコット・ベスタルなど、さまざまなテクニックを取り入れた奏法。また、川口市の国際交流イベントに参加した弟のジャロッドのマンドリン／ギターも凄かった。本作はリッキー・スキャッグス、シア・チェリーホームズ、クレイ・ジョーンズ、アンディ・レフトウィッチ、ジム・ハースト、スコット・ベスタル他、豪華なゲストたちを迎えた自費制作盤。

■マンドリン

HULL-70206 SIERRA HULL『Angel Mountain』CD\2,573-(本体\2,450-)

昨夏来日、センセーションを巻き起こしたシエラ・ハル、2002年に発売されたシエラのデビュー作。シエラが10歳のとき、大きなマンドリンを抱えて地元のローカル・ミュージシャンらと録音、子供らしく堅くなっている様子が聴こえるが、マンドリン少女のデビュー作としては充分なスタンダード・インスト集。昨年5月の全米デビュー作『Secrets』(ROU-0601 CD\2,573-)との時間差約5年、その成長ぶり、17歳にしてすでに2008年IBMA最優秀マンドリン奏者の最終ノミネート5人に選ばれた天才少女の貴重な「お宝アルバム」。

■フィドル

BCK-841 ERIC UGLUM/ CHRISTIAN WARD/ AUSTIN WARD『Old Road to Jerusalem』CD\2,573-（本体\2,450-）

シエラが全国ツアーのフィドラーに選んだ16歳のクリスチャン・ウォード。わたし思うに、メロディーの取り方やバックアップなどでブルーグラス・フィドルとして高い完成度と見たが、いかがだろう？　ステュアート・ダンカン二世ともいわれる才能の片鱗を聴かせる本作は義父のエリック・ユーグラム(g,m)と兄のオースティン(bs)に、全編でロン・ブロックが本気でブルーグラス・バンジョーを聴かせてくれる秀作。エリックとロンはあのウェアリー・ハーツの同窓。すばらしいトラッドグラス作品だ。

■ドブロ

SH-4041 ANDY HALL『Sound of the Slide Guitar』CD\2,573-(本体\2,450-)

2008年IBMA最優秀インスト・アルバム受賞作。デビッド・グリア(g)、ロブ・アイクス(d)、ティム・スタッフォード(g)、ジェシ・コッブ(m)との各デュオ4曲、ストリングダスターズとの5曲（内1曲はボーカル)、そしてノーム・ピケルニー(bj)を加えた1曲、ノーマン・ブレイクのメドレーをソロで演じる1曲の計11曲。ムーンシャイナー誌5月号の表紙を飾ったアンディ・ホール、同月号にはブルーグラス・ドブロ誕生秘話、また6月号にもドブロ／ナショナル／リーガル等を解説した特集あり。

■お勧めアンサンブル

AMA-1039 MIKE MARSHALL & DAROL ANGER with VASEN CD\2,573-（本体\2,450-）

アコースティック弦楽器のもっとも偉大な冒険者であるマイク・マーシャルとダロル・アンガーのデュオの2007年作は、スウェーデンのトップ・ストリングバンド、ヴェーセンとの共演作。スリル満点で刺激的な音とそのオーケストレーションは、アメリカ南部のブルーグラス由来の精神と北欧のケルト文化に影響を受けたスウェーデン、そしてブラジル音楽のラテンなども取り込んだ、あたらしいインスト世界、そうマイクの言う「フォーケストラ」なのだ。ムーンシャイナー誌2009年1月の「ウィンターグラス・リポート」でも写真紹介されていたように、アメリカン＆スウェディッシュ・フィドルの伝統を受け継ぎ、ブルーグラスやショーロなども取り入れた楽しいアルバム。

JSP-916 EDDIE LANG & JOE VENUTI『New York Sessions 1926-1935』CD ４枚組\5,775-（本体\5,500-）

ともにフィラデルフィアでイタリア移民の子として生まれたギタリスト、エディ・ラング(1902-1933)とバイオリニスト、ジョー・ベヌーティ(1903-1978)のデュオ録音5曲からはじまる全99曲。最初のジャズ・ギタリストと呼ばれるエディと、バイオリンをインプロバイズした最初のジャス・バイオリニストと呼ばれるジョーの幼なじみ２人が遺したアーリー・アメリカン・ジャズ。その数々のフレーズは現在のブルースやブルーグラスにも大きな影響を及ぼしている。20世紀初頭、確たるジャンルを形成する以前、あらゆる音楽にフレキシブルであったふたりが、さまざまなシチュエーションで遺した貴重な録音が年代ごとに収められた廉価CDセットである。

オールドタイム＆フォーク新入荷

PATUX-186 TATIANA HARGREAVES『Started Out To Ramble』CD\2,573-(本体\2,450-)

Raleigh and Spencer/Say Darling Say/Pretty Saro/She Left Me Standing on the Mountain/Shaking Down the Acorns/Ginseng Sullivan 他全15曲

「ニューオールドタイミーがトレンドだ！」なんて言ってたら、とてつもない怪物のようなオールドタイム・フィドラーが登場だ。タティアナ・ハーグリーブス、そう、バイオリン・ショップのDVDシリーズ『Fiddle Masters Concert Series Vol.3』の12歳の少女だ。タティアナは「ニュー」なんて関係ない、もちろん年齢なんて感じさせない、トミー・ジャレル直系の激しいエネルギーを弓に秘めたホンモノのオールドタイム・フィドルを聴かせてくれる。プロデュースにブルース・モルスキー(g,bj)、兄のスーパーフィドラー、アレックスのほか、サラ・ジャローズ(ｍ)やエマ・ビートン(cello)らにマーク・シャッツ(bs)とダニー・ナイスリー(g)。この自信に満ちた分厚いリズムのフィドルとボーカル、オールドタイムは21世紀も不滅だ！！　アパラチアの山奥に閉じ込められていたこのすばらしい音楽を21世紀の若者たちが見事に伝承している。凄い女の子、お勧め！！

TFSM-0001 西海 孝『空を走る風のように、海を渡る波のように』CD\2,500-(本体\2,381-)

わが影法師(Old Black Joe)/敵も味方も(Last Rose of Summer)/懐かしき歌(Danny Boy)/心のままに(Jeanie with the Light Brown Hair)/兎に角走れ(Camptown Races)/生まれた時のように(When It's Lamp Lightin' Time in the Valley) 他全12曲

ブルーグラス若旦那からテキーラ・サーキットのメンバーとして知られる西海孝のソロデビュー作。本来バンジョー奏者ながら抜群のトーンセンスでギタリストとして数々のメジャーアーティストのサポート（現在は森山直太郎ツアー）を勤めてきたマルチプレイヤーが、07年からソロ活動を開始、アパラチア／ブルーグラスをベースにウエストコーストロックなどを経験してきた幅広い感性で超一級のアコースティック職人の本領を発揮。自身のギター、バンジョー、スライド・ギター、ペダル・スティールなどに、松田幸一(harmonica)、鹿島達也(ｂｓ)、楠　均(ｐｅｒｃ)、宇戸俊秀(accordion,whistle)、小山りえ(violin)、太田裕美(ｖ)の抑えたバック。フォスターやスコッチ・アイリッシュなど、明治時代以降に渡来した誰もが知っているメロディーに、美しいコード進行と厳選されたシンプルな音を重ね、関口直人のあたらしい自然な日本語を優しく歌い、心を和ませてくれる。完成度の高いアコースティック音と、西海の内面の優しさがうかがえるアパラチアン・トーンが一体となった秀作。

ROU-3275 NANCI GRIFFITH『The Loving Kind』CD\2,573-（本体\2,450-）

「フォーカビリー(Folkabilly)」というスタイルを確立したテキサス州オースティン出身のシンガーソングライター、ナンシ・グリフィスの19作目に当たる最新作。55歳になっても相変わらずキュートな歌声、その中に芯の強さを感じさせるナンシ。タイトル曲では、「1958年、バージニアで人々は憎しみの代わりに愛を見つけた……」と唄いだす、異人種間の結婚禁止が最高裁で違憲とされた画期的な判決についての曲や、「多分、あなたの目には見えないところで、お金が全てを変えてしまっている」など、ナンシの視点で社会を見つめるオリジナル９曲と４曲のカバー。

オールドタイム＆フォークお勧め作品

DUAT-1211 NORMAN & NANCY BLAKE『Back Home in Sulphur Springs』CD\2,573-(本体\2,450-)

Columbus Stockade Blues/Girl I Left in Sunny Tennessee/We Parted by the Riverside 他全14曲

今年71歳のノーマン・ブレイクの2006年作品。まさに仙人的な心境とでもいうか、フラットピッカーとしての気負いなく、飛行機に乗らず、ジョージアの田舎に住みながらマイペースでアメリカン・トラッド・フォークを淡々と演じてきたというノーマン、アパラチア山脈の最南部から、きっとA.P.カーターと同じような気持ちでトラッド・チューンを暖めてきたのだろう。結婚30年という妻ナンシーとともに、夫婦ふたりだけですばらしいトラッドソング集を成した。

WJRC-0401 NORMAN & NANCY BLAKE, BOYS of the LOUGH, JAMES & RACHEL BRYAN

『Rising Fawn Gathering』CD\2,573-(本体\2,450-)

Sweet Sunny South/Castleberry's March/El Paso Waltz/While the Band is Playing Dixie 他全12曲

悠々たる音楽活動を通じてアメリカ南部音楽を、独自の視線を通して提示してくれるギター仙人、ノーマン・ブレイクの最新作はアイリッシュ／スコティッシュの名門ボーイズ・オブ・ザ・ロックと、昔からのフィドル相棒ジェイムズ・ブライアンをゲストに迎え、アメリカ南部ストリングバンド音楽とケルト音楽の品の良いコラボ作品である。ノーマンのメロディラインに対する素直な感受性が花開いた、かつて７０年代に自身が提示したライジング・ファーン・ストリング・アンサンブルの再現を、より明確にケルトの影響を意図しながら聴かせてくれる。ノーマンのフィドル音楽に対する感性は、アパラチアの奥深い山に埋もれて発酵したそれよりも、たとえばジョージアのプランテーション（大農場）やアラバマの丘に立つ農家の明るい日差しのバックポーチで聴かれるような、どことなく浮世離れして垢抜けたお洒落なところがある。そんな感覚で演じる１９００年に出版されのちにカーター・ファミリーが演じた"ＨｏｍｅＳｗｅｅｔＨｏｍｅ"をモチーフにした"While the Band is..."は絶品だ。日ごろのあらゆる喧騒を離れた、まことに心穏やかな境地に誘ってくれるギター、フィドル、そして４曲のボーカル、……ゆったりと、みんながジャムするフロントポーチでくつろぎませんか？

カントリー新入荷

ARI-47352 BRAD PAISLEY『American Saturday Night』CD\2,573-(本体\2,450-)

American Saturday Night/Welcome to the Future/She's Her Own Woman/Anything Like Me/Catch All the Fish/Oh Yeah, You're Gone 他全14曲

前作『Play』(ARI-26908\2,783-)で超絶ギタリストぶりを知らしめたブラッド・ペイズリー、矢継ぎ早の新作はシンガー／ソングライターとしての実力を遺憾なく発揮した会心作。祖父、自分そして息子を唄った大作"Welcome to the Future"など、これまでになく内面の心情を吐露したパーソナルな作品から社会派的内容まで、実にシリアスな作品となっている。とはいえ、そうした内容を彩るのはいつもどおりの真っ直ぐなカントリー・スタイル、自身のギターを軸にフィドルとペダル・スティールそしてピアノ、これぞ現代版正統カントリーの極みともいうべき完璧のサウンドは、モダン・デイ・ナッシュヴィルのトップ・スターの自信から生まれているのだろう。得意のバラードやホンキー・トンク調もまじえて、じっくりと「聴かせる」作品に仕上げている。アコースティック楽器の使い方も鮮やかだ。オマケのインスト小品あり。（宇野誠之）

カントリー発掘＆編集モノ新入荷

BCD-16929 GEORGE JONES『A Good Year for the Roses:The Complete Musicor Recordings 1965-1971(Part 2)』4CD+52Page Book\14,438-(本体\13,750-)

ジョージ・ジョーンズ全集『Walk Through This World With Me』(BCD-16928\17,325-)に続くミュージコー編パート２（1965～71年）。ユナイトそしてミュージコーに在籍した10年足らずの期間こそは、ジョージ・ジョーンズがもっともジョージ・ジョーンズらしかった時代、ウェストコーストに君臨したバック・オウエンズという強力なライヴァルと競い合って、ナッシュヴィル・カントリーの本流を守り抜き、ポップに流れていた状況を一変させたストレートかつ重厚なサウンドを完成に導いた時期として、歴史に残っている。このミュージコー全集パート２には、ジョージ・ジョーンズがいちばん輝いていた、そんな時期のヒット曲が満載の全131曲収録、UA編、ミュージコー編パート１とあわせて、ジョーンズ節完成への全貌が遂に明かされたのだ。ブルーグラス系ヴォーカリストにも絶大な影響を及ぼしつづける「キング」ジョージ・ジョーンズのすべてがここに。（宇野誠之）

■カントリー・ファンへのお勧め作品

OMS-25050 BOBBY OSBORNE『Selfishness in Man』CD\2,573-（本体\2,450-）

ブルーグラス界最後の第一世代として現在も精力的に作品を発表しつづけるオズボーン・ブラザーズのボビー・オズボーンが2000年に発表した

初のカントリー作品。"Mom and Dad's Waltz"、"Act Naturally"、"Pick Me Up on Your Way Down"、"Oh, Lonesome Me"などの大好きな曲を、カントリー・サウンドをバックにあの胸に突き刺さる声で歌う。

映像ものお勧め作品

SHDVD-4805 V.A.『Country Bluegrass Homecoming, Vol.2』DVD\3,675-（本体\3,500-）(Dolby Digital 5.1 and Stereo、90分)

ブルーグラス／カントリーの新旧トップ・アーティスト、ビンス・ギル、ラルフ・スタンレー、ジョージ・ジョーンズ、ロンダ・ビンセント、ザ・グラスカルズ、マーティ・ステュアート、ドイル・ローソン＆クイックシルバー、チェリーホームズ、デイリー＆ビンセントらが見事なゴスペル・エンターテイメントを繰り広げるメジャー製作のDVD秀作。申し訳ありませんが、第１集は売り切れました。

KOCH-4241 CHARLIE DANIELS & Friends『Preachin', Prayin', Singin'; Live from Nashville』DVD\2,888-（本体\2,750-）

Walkin' in Jerusalem/Old Crossroads/Salty Dog Blues/Keep on the Sunny Side/Uncle Pen 他全12曲

サザンロックのスーパースターとなったチャーリー・ダニエルズもブルーグラス出身。そんな彼が、ブルーグラスに戻り、親友のマック・ワイズマンと和気あいあいのブルーグラス・ゴスペル・ライブを繰り広げる2005年のセッション・コンサート。ゲストにアール・スクラッグスとゲーリーとランディの息子ふたり、そしてデル・マッカーリー。基本セットのバック・バンドには、ロニー・マッカーリー(m)、ロブ・マッカーリー(bj)、ジェイソン・カーター(f)、マイク・バブ(bs)のDMBに、ストリングダスターズのアンディ・ホール(d)と、2006年にジョン・コーワン・バンドで来日したティム・メイ(g)、コーラス隊としてザ・ホワイツ。リラックスした笑顔が一杯のセッション・コンサート映像。

FGM-1015D ROBIN KESSINGER, ROBERT SHAFER, MARK COSGROVE『Pickin' at Peaceful Bend』DVD\3,990-（本体\3,800-、カラー55分）

３人のウィンフィールド全米フラットピッキン・ギター・チャンピオン、ロビン・キッシンジャー、ロバート・シェーファー、マーク・コスグローブが３様のギターを聴かせる楽しい2008年５月のライブ。これまでのFGMシリーズ４作でのブルーグラス・ギター大会とは少し趣を変えて、ドック・ワトソン系列のフラットピッキン・ギター世界をスタンダード曲中心に見せる１時間。３人ともルシアー、ボブ・トンプソン製作のドレッドノートを快奏する。

GL-2985 LYNN ANDERSON『Live from the Rose Garden』CD+DVD\3,098-(本体\2,950-)

Listen to a Country Song/Even Cowgirls Gets the Blues/Someday Soon/Top of the World 他全16曲

リン・アンダーソンの2005年発売のCD+DVDが再発売だ。彼女らしい70年代ポップ・カントリーのラ イブ。もちろん、あの懐かしい"Rose Garden"も収録されたライブ、同じステージのDVD映像の全編がオマケ!?で付いている。バックは超ベテランのバディ・スキッパー(piano)やフレッド・ ニューウェル(g)、ワイルド・ローズで来日もした女性マルチピッカーのワンダ・ビック(f,m)ら。 初めてのビデオでもあるというリンの楽しそーなこと、あたりまえに年は取ったけど、あの懐かし い声は同じだ。

SKFR-1005 RICKY SKAGGS & KENTUCKY THUNDER『Soldier of the Cross, the Concert』DVD\3,098-(本体2,950-)

ブルーグラス界最重量級ライブ・バンド、ケンタッキー・サンダーを率いてリッキー・スキャッグスが2001年1月、ナッシュビルのギブソン・カフェで収録したバリバリのブルーグラス・ライブ全11曲。ビル・モンローの"Get Up John"や"Walls of Time"のほか、ゴスペルを中心に鉄壁のブルーグラス・アンサンブルを堪能させてくれる。ギターにはクレイ・ヘス、フィドルにはボビー・ヒックスとルーク・ブラ、ジム・ミルズ、ポール・ブルースター、ダーリン・ビンセント、マーク・フェイン（２曲で登場するパーカッションはケニー・マローン)。

SHA-612D FLATT & SCRUGGS『The Best of Flatt & Scruggs TV Show, Vol.2』

DVD\3,308-(本体\3,150-)

第一部 Polka on a Banjo/Go Home/Fireball Mail/Foggy Mountain Special/I Won't Be Hanging Around/We'll Meet Again Sweetheart/Walking In My Sleep/Are You Washed in the Blood/You Live in a World All Your Own/Dance All Night with a Bottle in My Hand//第二部 Foggy Mountain Breakdown/Wildwood Flower (with Mother Maybelle Carter)/The Liberty Dance (with Mother Maybelle Carter)/Homestead on the Farm/Have You Come To Say Goodbye/I Dreamed About Mama Last Night/Down, Down, Down/Durham's Bull/Down the Road/Over There.

絶頂期のフラット＆スクラッグスを目の前で楽しめるシリーズ８巻のうち、２００７年発売の第２弾。1961年7月と８月放送の各30分、マーサ・ホワイト提供テレビ・ショウ。白眉は、ゲストに登場するマザー・メイベル・カーターとの共演。メイベルのインパクトと、誰にも真似の出来ないレスターとアールの絶妙なブルーグラスは文句なし、ブルーグラス・ファン必見。廃盤になってしまう前に、是非……、まだ８巻とも在庫あり。

教則もの新入荷

PRA-BCD ALAN MUNDE『Poor Richard's Almanac』Book+CDR\2,888-(本体\2,750-)

Molly Bloom/Jubilee/Dusty Miller/Lil' Joseph/Other Side of Baker/Little Big Horn/Sally Goodin'.

1969年、アラン・マンデ、サム・ブッシュ・ウェイン・スチュワートの３人が地下室で録音した超貴重音源。音質は悪いが、これがサムとアランの初録音、その収録された演奏もマンドリン／バンジョー双方にとって革命的にすばらしい内容。本作はこの有名な幻のアルバム全曲と、その中から上記６曲のバンジョー・タブ譜がセットになったもの。

教則ものお勧め

下記のほか、教則に関しては演奏レベル／ニーズに応じて、ご相談ください。

RW-CTAB CLARENCE WHITE『The Essential Clarence White Bluegrass Guitar Leads』102頁Book+CD２枚組\6,930-（本体\6,600-）

不世出の天才ギタリスト、クラレンス・ホワイトの教則本が兄、ローランド・ホワイトとその妻ダイアン・ボウスカの手によって完成された。クラレンスの奏法の基礎となったクロスピッキンを14曲、みっちり学べる秀作。14曲のオリジナル録音CDと、ローランドやミッシー・レインズ(bs)によるリズム・トラックのカラオケCDの２枚組、そして各曲ごとにスティーブ・ポティアとマット・フリナーによる詳細な技術解説と楽譜とタブ譜。なお、ローランドが書いたクラレンスや家族、そしてその音楽軌跡は、ムーンシャイナー誌３月号から翻訳連載中。

DVDMOLFI21 BRUCE MOLSKY『Southern Old Old-Time Fiddle Tour; an Depth Lesson in Traditional Styles』DVD\5,040-（本体\4,800-）(75分楽譜付)

アパラチア南部に伝わってきたフィドル・スタイルを、遺された録音や人々から可能な限り正しく継承しようとするオールドタイム・フィドルの第一人者、ブルース・モルスキーが教える究められた南部伝承フィドル奏法。さまざまなシャッフルによってメロディからリズムを引き出し、力強いグルーヴを生み出していく過程はオールドタイム・フィドル最大の魅力だ。全曲が変則チューニングで、オールドタイム・フィドル巨匠の足跡を丹念になぞりながら各地の伝承を伝えてくれる大秀作である。

DVDOSBBJ21 SONNY OSBORNE『Bluegrass Banjo』DVD+Tab\5,040-(本体\4,800-、90分)

Danny Boy/El Randa/America the Beautiful/I'll Never Shed Another Tear/Pain in My Heart/Me and My Banjo/Six White Horses/Dandylion/One Tear/Tennessee Hound Dog/Sunny Mountain Chimes/Eight More Miles to Louisville/I'll Never Love Another/Rocky Top.

中級者から上級者向き、泣く子も黙るバンジョー大家、ソニー・オズボーンの1995年作教則ビデオがDVD化である。ビル・エバンスを相手に、ソニーの秘密のすべてが明らかにされる。…といっても本人、ぜんぜん分かっていないところが凄い。ただ耳で聴き覚えた音を、どうしてこんなに繊細に、しかも本人も分かっていない音楽理論

に当てはまるのか…、やっぱ天才的テイストとしか言いようがないソニー、心して見られよ!! ただ、いくら音を覚えて真似ても、心がこもっていなければ意味がない。画面の奥の奥をよーく見てください。1935年のプリウォー・ギブソン・グラナダも拝むに足る。

CDBALAP01 BUTCH BALDASSARI『Appalachian Mandolin』CD+Book\3,780-（本体\3,600-）

Ground Hog/June Apple/Black Mountain Rag/Wayfaring Stranger/Flop Eared Mule/Pretty Saro 他全14曲

ウェアリーハーツやロンサム・スタンダード・タイム、そしてナッシュビル・マンドリン・アンサンブルで知られるマンドリン奏者、今年1月に他界したブッチ・バルダサリ。オールドタイム／ブルーグラスからクラシックまで幅広い知識と技量の持ち主で名門大学バンダービルトのブレアー音楽校の教授でもあった彼が、マウンテン・ダルシマーの故デビッド・シュノウファーとのデュエットでアパラチアに古くから伝わるトラディショナル14曲をシンプルに演じたCDと、その楽譜／タブ譜。アパラチアン・トラッドの幽玄な雰囲気を楽しみませんか？

FGM-1002D JAMES ALAN SHELTON『Clinch Mountain Guitar』DVD\3,990-（本体\3,800-、カラー55分）

Will You Miss Me/Katy Dear/Rank Stranger/Uncloudy Day/Bury Me Beneath the Weeping Willow/Wildwood Flower/Road to Coeburn/Tom's Creek/Cannonball Blues(fingerpicking)/Banks of the Ohio.

1950年代にスタンレー・ブラザーズのジョージ・シャフラーによって確立されたブルーグラス・ギターの基礎、クロスピッキンの教則ビデオがDVD化である。御大ジョージ・シャフラーもゲストで登場、クラレンス・ホワイトが練習し狂った「ダウンダウンアップ」のクロスピッキンの本家を見せてくれる。その後、さまざまなシチュエーションのクロスピッキンを現在、ラルフ・スタンレーのクリンチ・マウンテン・ボーイズにいるジェイムズ・アラン・シェルトンがチョー丁寧に教えてくれる。トニー・ライス以降でギターをはじめた人はもう一度基本に返るのもいいんでないの？

ES-BOOKCD EARL SCRUGGS『and his Five String, Revised and Enhanced Edition』Book+CD\6,563-(本体\6,250-) ［再入荷］

バンジョー教則本のバイブル改訂版が再入荷。これまで の『Foggy Mountain Banjo』(CCS-110\2,573-)や『Foggy Mountain Jamboree』(COL-92801\2.079-)からのタブ譜に加えて、新しく追加されたタブ譜はフ ラット＆スクラッグス以降を中心に以下の通り、"American Made-Worls Played"、"Bleeker Street Rag"、"Broad River"、"Carolina Boogie"、"Carolina Traveler"、"Instrumental in D Minor"、"Loraderojpst III Breakdown"、"Pedal to the Medal"、"Pick Along"、"Roller Coaster"、"Silver Eagle"、"Station Break"、"String Bender"、"Train Number Forty-Five"、そしてオリジナル版からカットされたのは、"Down the Road""Maggie Blues""Nine Pound Hammer""Home Sweet Home/Silver Bells(Banjo Duet)"。また、自筆のセルフバイオグラフも加えられている。

楽器、その他…

JO-26N『JOHNSON 000 GUITAR』\37,800-(税込)

ハイ・コスト・パフォーマンスで好評、ジョンソン・ギター000サイズ、マホガニー・ボディモデル・チェンジ前の大特価にての提供です。バランスの良さではドレッドノウトよりも格段上で低音から中高音まで心地よく響きます。フラットピッキングでもフィンガーピッキングでも幅広く使えます。ビンテージをお持ちの方もフェスやキャンプに気兼ねなく持っていけます。また手許において爪弾くには丁度良いサイズです。(ケースはギグ・バッグ付となります。)台数限定。

GF-100『ゴールド・スター・バンジョー』定価\225,750→特価\148,500ー(税込)

◆Select mahogany neck◆Bound mahogany resonator with inlaid double concentric rings◆Cast bell bronze tone ring◆Deluxe 3-ply rock maple rim◆Double Coordinator rods◆Single piece die-cast flange◆Triple nickel-plated hardware◆Old Presto style tailpiece◆Planetary tuner(1st-4th) & geared 5th peg◆Hand-cut mother-of-pearl inlays carfully laid out

in the "Flying Eagle" pattern on both the ebony fingerboard and peghead overlay◆Deluxe re-issue Gold Star hardshell case

トム・アダムスをはじめトップ・ミュージシャンから高い評価を受けてきたゴールド・スター・バンジョー、ブルーグラス・フェスシーズンをむかえ、Goldstarバンジョー GF-100（定価215,000円税別）をフェス応援大特価でご提案させていただきます。インレイは今ならハーツ& フラワー、フライング・イーグル、リースから選べます。この機会をお見逃しなきよう!!

Sheerhorn　リゾネータ・ギター StanderdBody “USED” \976,500.-(税込み)　(価格お問い合わせください)

ジェリー・ダグラス, ロブ・アイクスご愛用、プロ仕様ティム・シアホーンの作品。オーダーには4　年の待ちであったが現在注文の受付はしていない。カーリー・メイプルのサイドおよび　トップマホガニー・サイド& バック, スプルーストップ。

リッチ& テイラー・ビル・キース・モデルバンジョー(USED)　価格お問い合わせく　ださい。

ニュー・ギブソンの立上げに貢献したグレイグ・リッ　チと現在、クラフツ・オブ・テネシーで製作を続　けるマーク・テイラーによるブランド、リッチ& テイラーの　ビル・キース・モデルのバンジョー。トップテ　ンション、アールデコ調の雲のインレイ、ウォルナット、　プ　ライス・テイルピースを装備広めの指板。約５０　本ほど製作された(1993-1995)うちの貴重な1本。ビル・キース・ファン　に　お勧めです。

ステリング・レッド・フォックス・バンジョー(USED)　価格お問い合わせください。

ステリング・バンジョーの中でも比較的、新しいモデ　ルです。名バンジョー・プレイヤー - ビル・エマーソンにインスパイアされて作られました。ペグヘッド　に狐のインレイが入っています。　ボディとネックはカーリー・メイプル、ニッケル仕様です。軽　いタッチ　でしっかりと音の出る立ち上がり　の良さはステリングの特徴です。1996 年製。

BU-ST　ブルーグラス・アンリミテッド・ステッカー　各\315-（税込み）

1970 年代以来、30 年間に渡って支持され続けているブルーグラス・アンリミテッド誌が発売す　るステッカー。ス　ローガンには下記の５種類があるので、それぞれ選ぶか、枚数指定でオマカセ下さい。

"I Love Bluegrass"、"Clean Up Air Polution, play Bluegrass"、"Bluegrass, Hear It, Play It, Love It"、"My Grass Is Blue"、"Have You Hugged Your Banjo Today?"(これのみBlugrass表記なし)。

輸入雑誌

(以下の３誌は英語版で、共にバックナンバーも豊富に取り揃えています。気になるアーティスト等の特集等についてはお問い合せ下さい。…調べる&知るの面白さをいかがですか)

■バンジョー・ニューズレター誌

世界唯一のバンジョー専門月刊誌。毎号タブ譜満載（ウェブサイトから「MP3」で音源入手可!!)、バックナンバーもお問い合せ下さい。探しておられるタブ譜の曲名や演奏スタイル、またお気に入り奏者の特集も探します。収蔵曲のCDやDVDなども在庫していますので、お問い合わせください。

BNL-09/06　最新2009年6月号　\525-

ベラ・フレックとアリソン・ブラウンのカバーストーリーで、ベラのアフリカ・ツアー・インタビュー前編、アリソンの『The Company You Keep』インタビューと"Under the (Five) Wire"のタブ譜ほか、タブ譜はトニー・トリシュカ"Ducks on the Pond"、トム・アダムス"Little Sadie"、マイナーキーのバックアップ"El Cumbanchero"ほか、トミー・ジャレルの"John Henry"などのクロウハンマー等々、米国先端バンジョー情報と5 弦バンジョー奏法満載。

BNL-09/05　2009年5月号　\525-

エディ・アドコックとティム・オブライエンのカバーストーリーほか、タブ譜はティムの"Red Dog in the Morning"、アール・スクラッグス"Old Country Road"、ドン・レノ・スタイル"Gold Rush"、トム・アダムズ"Blue Skies and Teardrops"、ビル・エバンス"Distance Between Two Points"、フレッド・ゲイガー"Secret Love"ほか。

■ブルーグラス・アンリミテッド誌

米国の最大のブルーグラス月刊専門誌。お探しの記事などバックナンバーもお問い合わせください。

BU-09/06　最新2009年7月号　\840-

バレリー・スミスとベッキー・ビューラーのカバーストーリーほか、恥ずかしながらの渡辺三郎とムーンシャイナーの25年、デビッド・ホルト、プリウォー・ギブソン#8134-10の運命ほか、さまざまなコラムで米国ブルーグラス情報満載の86頁。

BU-09/06　2009年6月号　\840-

75歳のメルビン・ゴーインズのカバーストーリーほか、エイプリル・バーチ、ウィリアム&クラーク・エクスペディションほか、情報満載の90頁。

■オールドタイム・ヘラルド誌

内容の濃いオールドタイム音楽専門誌。アメリカン・トラッド音楽研究に必読の良書!!バックナンバーが揃っています。お問い合わせください。

OTH-1111　最新2009年6月／7月号　\1,260-

リリー・メイ・レッドフォードとクーン・クリーク・ガールズのカバーストーリーほか、レイ・アルデンによる最新オールドタイム・バンジョー・トレンド、フィドラーのカーシー・シスコなどの特集に、米国伝承音楽の情報満載。なお、今号から航空便価格が加算されています（米国からの船便廃止のため)、ご了承ください。

OTH-1110　2009年4月／5月号　\945-

19世紀、オレゴンにやって来たフィドル・パイオニアは黒人奴隷の息子ルー・サウスワースだったというビビアン・ウィリアムズのリポートほか、いまだに謎の「ジョン・ヘンリー」実在の証拠探し、1925年8月にノースカロライナ州アッシュビルで行われたオーケー・レコード歴史的録音ほかの特集。

月刊『ムーンシャイナー』

1983年11月の創刊以来、毎月発行を続ける日本唯一のブルーグラス月刊専門誌、26年目です。

■定期購読：1年￥6,000-半年￥3,300-

お申込はお葉書やお電話、ファックスやメールでご希望の購読開始月をお知らせ下さい。バックナンバーも含めて、いつからでもご自由です。

■ムーンシャイナー・ファイル：\840-

ムーンシャイナーの一年分12冊を傷をつけずにファイルできるコクヨ製ロゴ入り特製フォルダー。

■バックナンバー：各￥525-。

下記以外にも、アーティストや知りたい事をお知らせ下さい。掲載号を探してお送りします。

MS-2609　最新2009年7月号（通巻309号）\525-

サラ・ジャローズのカバーストーリーと彼女たちを取り巻く新トレンド「ニュー・オールドタイミーについて～ギリアン・ウェルチとヘイゼル・ディッケンズ」特集ほか、アルバム『空を走る風のように、海を渡る波のように』を発表した西海孝インタビュー、50年間のデル・マッカーリー論、ジェイソン・デイビス、連載クラレンス・ホワイト物語⑤、米国ブルーグラス留学の勧めほか、日米ブルーグラス情報満載。ぜひ年契を……!!

MS-2608　2009年6月号（通巻308号）\525-

ベラ・フレックのアフリカ物語、サラ・ワトキンス、ドブロ特集後編「ナショナル／ドブロ誕生」、1989年革命とストレングス・イン・ナンバーズ、クラレンス・ホワイト物語㊦、ブルーグラス・エクスチェンジ来日ツアー・リポート、大沼　元とザ・レヴュー、アーロン・マクダリスなどの特集ほか。

B.O.M.ご利用方法

ビー・オー・エムのニューズレターは会員制ではなく、商品の定期購買者に無料でお届けしています。一定期間、　弊社からの商品のお買上げがない場合、勝手ながらレターの発送をストップさせて頂きますので、ご了承下さい。

▼『B.O.M.オープンハウス』は、月曜から金曜、10時から5時頃まで、B.O.M.サービスに皆さんをお迎えします。音源は勿論、演奏法や楽器についてのご相談な　どにも応じます。また、来訪いただいた方への特典も用意しています。道順などはお問い合わせ下さい。…　Y'all　Come!!

1)．このニューズレターで紹介する商品は、ニューズレター発行時点で、すべて在庫しています。
2)．ハガキやお電話、ファックス、Eメイル等で、封筒のお名前の下の6桁お客様コード番号とお名前と共に、ご希望の商品コードをお知らせ下さい。
3)．通常ご注文から1週間以内にはお届けします。ただ、レター掲載時には充分な在庫を心掛けていますが品切れになった場合、再入荷を期して発送が遅れる場合もありますのでご了承ください。

4)．基本送料は下記の通りです。
500g（CD 3枚程度）まで、全国均一\390。
1Kg（CD 7枚程度）まで、全国均一\700。
ただし、特定地域、特定商品などについては、別途加算の場合があります。お問い合せ下さい。
5)．お支払は、品物を受け取られてから1週間以内に同封請求書（代金+ 送料+ 消費税）をご確認の上、郵便振替や銀行振込でお願いします。
●郵便振替＝01160-8-74352
●三井住友銀行・宝塚支店＝普通1229492
●池田銀行・宝塚支店＝普通2330116
㈱ビー ・オー・エム・サービス 宛て
●ジャパンネット銀行 本店営業部（ホンテン）
普通預 金 店番号-口座番号 001-1340424
カ）ビーオーエムサービス

●輸入CD、DVDなど、3点以上購入の方送料サービス実施中。ただ、品切れに備え、第2希望以下2、3枚程度の予備をお知らせ下さい。

(株)ビー・オー・エム・サービス
●〒665-0842 兵庫県宝塚市川面 6-5-18
●tel.0797-87-0561
(営業時間：月～金の午前10時～午後5時。なお祝日は休みをいただきます)
●fax.0797-86-5184(24時間)
●http://www.bomserv.com/
●E-mail：info@bomserv.com

ビー・オー・エム・サービスのホームページでは随時、最新入荷案内やニュースを更新しています。ニューズレター、在庫リスト、ムーンシャイナー誌バックナンバーなども紹介しています。最新情報の更新案内をメールでご希望の方はお申し出ください。

2点追加

NETT-30792 ABIGAIL WASHBURN&SPARROW QUARTET CD\2,888(本体\2,750)

アンクル・アールで一躍、脚光を浴びたアビゲイル・ワッシュバーン率いるスパロウ・クァルテット。ベラ・フレック、ケイシー・ドリーセン、ベン・ソリー達とアパラチアン・トラッドの美しいメロディにオリエンタルなテイストを加えて格調高く演じる。

VMP-0100 VARIOUS ARTISTS "Mandolin Artistry Volume 1" CD\2,888(本体\2,750)

Dusty Miller/Boston Boy/Big Mon/On the Hills, in the Valley/Pale Rider/Flying High/Sassafras/McCoury Blues/Puddle Jumper/Earnet T.Grass/Spark Plug 他全16曲

'95年にジミー・グドローの提唱により、"Young Mando Monsters"というタイトルで当時の伸び盛りのブルーグラス・マンドリンの若手8人、今では大御所となったロニー・マッカーリー（デル・マッカーリー・バンド)、アダム・ステッフィー（アリソン・クラウス&ユニオン・ステーション～マウンテン・ハート～ダン・ティミンスキー・バンド)、ウェイン・ベンソン（ライブワイヤー～サード・タイム・アウト)、ダン・ティミンスキ（ロンサム・リバー・バンド～ユニオン・ステーション)、アラン・バイビー（元サード・タイム・アウト)、エモリー・レスター（エモリー・レスター・セット)、レイモンド・レジェ（カナダのマルチ・プレイヤー)、ラディム・ゼンクル（チェコの天才）を各2曲づつ、1枚にまとめたマンドリン・ファン必聴の作品が'05年にジャケットも新たに再発売。

以上、